

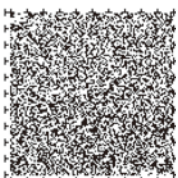


みんなの議会



桜が彩る雨宮の渡^{あめのみや わたし} 最大の激戦となった第4次川中島合戦（1561年）の際、武田側の策略を察知した上杉軍は、この場所から秘かに千曲川を渡り武田軍本隊が布陣する八幡原に向かいました。奥には江戸時代後期の歴史家、頼山陽^{らいさんよう}の漢詩「川中島」を記した碑が建てられ、過ぎ去りし時をしのんでいます。

千曲市のこんなことが決まりました	2
代表質問	4
個人質問	7
討論	14
税金の使い道が決まりました	15



(音声コード)

令和5年3月定例会

千曲市のこんなことが決まりました。

■ 会期 19日間（2月27日～3月17日）

3月定例会の議案は

市長提出議案	29件
委員会提出議案	1件
請願・陳情	6件

議案等の審議の結果は、千曲市ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。賛否が分かれた議案の各議員の賛否は、市議会ホームページ「議会日程」の中で公表しています。

Pick up 1

総務文教 常任委員会

千曲市誕生20周年記念事業を実施

本年9月1日に千曲市誕生20周年を迎えることから、令和5年度を「千曲市誕生20周年イヤー」として、通年で各種記念事業が実施される。

文化会館自主文化事業やハートフルコンサートに招くアーティストはどのように選ぶのか。

千曲市出身者や市にゆかりのあるアーティストを検討している。

日本遺産推進事業の内容は。

地元の中学生・高校生が描いた16種類の絵を記念カードにして、すべてのカードを集めた方に景品をプレゼントする。また、日本遺産関連グッズの制作・販売や、田毎の月プロジェクト実行委員会と連携し、「ペットボトル」による棚田のライトアップを計画している。

広報として桃太郎旗などを取り入れる予定は。担当課と連携しながら進めていく。



千曲市誕生20周年記念ロゴマーク

Pick up 2

福祉環境 常任委員会

千曲市犯罪被害者等支援条例を制定

犯罪被害者等が受けた被害の早期回復と軽減を図り、市民が安心して暮らせる地域社会づくりを推進するため、条例を制定した。長野県でも条例を制定しているが、県と連携して市としても支援をする。

どのような支援を行うのか。

住居の確保など円滑な日常生活のための支援や経済的負担の軽減のほか、犯罪被害者等が直面している様々な問題に対して相談に応じ、必要な情報の提供や関係機関等との連絡調整などの支援を行う。

具体的な経済的支援の内容は。

見舞金については別に要綱を定めており、遺族見舞金として県から60万円と市から30万円、重傷病見舞金として県から20万円と市から10万円が交付される。なお、申請は県と市にそれぞれ行う必要がある。



安心して暮らせる地域へ

Pick up 3

建設経済 常任委員会

信州千曲観光局運営交付金など 令和5年度の観光費予算について

信州千曲観光局の運営交付金予算は、前年度には4000万円計上されていたが、今年度は交付金内容を精査・検討した結果、3600万円に減額された。そのほか、観光事業補助金は、約1800万円が計上され、市内の大きなイベント等の運営費として実施団体に交付されている。

千曲市総合観光会館の指定管理委託料1170万5千円の支払い先は。

千曲市総合観光会館の指定管理委託料は、指定管理者の信州千曲観光局に支払われる。同観光局への運営交付金とは別で、観光会館の建物の維持管理費用である。

土地借上料として516万2千円が計上されているが、物件内容は何か。また長期借上げの物件は、借上料の見直しや買上げも検討すべきではないか。

上山田温泉の足湯のある公園敷地、上山田中央駐車場の借地料や道路上の屋外広告物等、10か所の土地借上げ料である。なお、この公園や駐車場敷地は、過去の経過を調査し、方向性を検討していく。



千曲市総合観光会館



一般質問

代表質問

会派を代表した議員が、市長施政方針や予算案等に対して行う質問。毎年3月の定例会において実施。

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

今定例会では、
5名の会派代表者が質問しました。

- 1回目 一括質問一括答弁方式
- 2回目以降 大項目ごとに一問一答方式
再質問は1つの大項目につき2回まで



一志会代表
吉池 明彦

重点施策の「防災・減災対策」について

Q 東日本大震災後、12年を経た被災地を視察し、新たなまちの姿、強靱な津波対策、市民の防災意識の高さに驚いた。千曲市民の防災意識の向上を図るために、支援をした経緯から今後世代を超えた交流を深め、姉妹都市へと繋げるべきだ。

A 台風19号以降、防災意識は高まりつつある。更に効果的な防災教育や出前講座、防災訓練等で向上を図る。今後、被災地との交流が深まり市民の思いや機運の醸成の状態を見極め、姉妹都市への検討をする。



南三陸町の旧防災対策庁舎、現在は、「震災遺構」となっている。周囲は嵩上げされ後方には、道の駅「さんさん商店街」がある

環境対策の推進について

Q カーボンニュートラルには、CO₂を吸収する森の樹木の管理も重要だ。現状約8割が樹齢50年を超えている。森林の主伐と更新伐で好循環な森にすべきだ。

A 持続可能な森に向け、市有林や財産区、私有林も森林環境譲与税を活用し、管理制度に基づき進める。薪ストーブ等の普及には森林づくり県民税を活用し「伐って植えて育てる」好循環を推進する。

令和5年度予算と財政計画について

Q 予算規模295億円の根拠と基金取崩し26億円の妥当性は。

A 内閣府が発表した月例経済報告から税収増を見込み、基金は計画の公共施設の改築や地方債償還に充てる。

【その他の質問】

○少子化対策・経済対策・観光振興・総合運動公園についてなど



自由政策研究会代表
和田 英幸

都市基盤整備（道路ネットワーク）について

Q 屋代地区開発事業は、交通アクセスの良い立地を活かした都市基盤整備であり、若者に魅力的なまちづくりをすることで人口減少を抑制し、千曲市を活性化させる事業である。早期実現を。

A 屋代地区まちづくり構想案は「地方創生の拠点」として地権者や民間事業者とともに未来への投資を進めていく事業であり、移住定住の促進や雇用機会の創出など、千曲市全体の活性化につながり安定した自主財源が見込まれる。

Q (仮称)屋代スマートインターチェンジ建設と、アクセス道路や産業連携道路ネットワーク構想に向けてのスケジュールおよび期待と課題は。

A 今後、インターチェンジは



新政クラブ代表
中村 眞一

令和5年度当初予算と歳入・歳出について

Q 当初予算は財政計画270億円に対し、295億円、前年度比33億2千万円(12.7%)増と拡大した理由は何か。

A 昨今の急激なエネルギーコストの上昇や原油価格の高騰など、財政計画作成時点において予測し得ない社会情勢の変化に加え、コロナ禍における物価高騰対策経費や国の子育て施策など新たな財政需要が生じたことによるもの。

Q 歳入予算の市税は77億円計上され、前年度74億円に対し27億円(37%)増を見込んでいる。一方で繰入金が26億4千万円増、前年度比241%は少し異常ではないか。

A 国の令和5年度地方財政計画で、地方税は前年度比4%増収を見込んでいる。コロナ感染症の抑制から景気持ち直しの動きがあり、雇用や所得環境の改善を期待



(仮称)屋代スマートIC～都市計画道路一重山線

地区協議会で決定した実施計画書を基に国が新規事業化を判断する。インターチェンジ整備により企業立地が進む市内各拠点からのアクセス向上が期待されるため、早期事業化・供用開始に向けて国に働きかける。また周辺の渋滞対策として、一重山2号線・都市計画道路一重山線の全線整備が重要である。市道一重山2号線は市が事業着手し、都市計画道路一重山線は国道403号のバイパスとして整備することを、県と連携・情報共有して事業化を強く要望している。

し、個人市民税で約2億円、法人市民税は約6千万円増を見込んだ。また、繰入金増大は公共施設の改築や耐震化、解体などの実施や、地方債の償還が拡大することと、千曲市誕生20周年記念事業の実施等、事業費の増額に備え積み立てた基金を計画的に繰り入れるものである。

歳出計画の基本方針は

Q 市行政のスリム化と積極的投資は。

A 今期は公共施設個別施設計画に基づき、公共施設の統合を進め、保有施設の縮小によりハード面でのスリム化を図っていく。ソフト面では子どもの育ちと学びを応援する事業である「人への投資」を積極的に行う。

【その他の質問】

○最重要施策・子ども、子育て支援の推進
○「こども家庭庁」が発足するが、当市の対応は



早稲草幸市議員代表
前田 きみ子

学校給食費無償化は

Q 憲法26条は「義務教育は、これを無償とする」と謳っている。県下で28.5%が無償化、一部補助している市町村は67.5%である。千曲市も令和4・5年度と物価高騰の補助として1食15円の補助をしているが、保護者の負担軽減と栄養バランスのとれた給食の提供をするため一歩進んだ給食費無償化を。

A 本年度から就学援助制度により生活困窮世帯に対し、学校給食費を実費相当分に引き上げて支援している。

Q 高齢者の見守り、声掛けを重点に。

A 民生児童委員は「ふれあい訪問」で定期的な見守りを、市では安心コール事業を行っている。

稲荷山の重要伝統的建造物群保存地区は

Q 文化庁から重伝建に認定されてから8年、食事処、お土産処など核となる所は、土産処など核となる所は。

A 施設を運営する体制の構築が必須で、ハード、ソフト両面からの施策の展開を行う必要がある。ハード面では「まちづくりデザイン」を、ソフト面では重伝建地区の防災計画の策定と「稲荷山を訪れてみたい、住んでみたい、事業を興したい」という人が現れる魅力あるまちづくりを住民と一緒に考えていく。



伝統的建造物群保存地区「城小路の井戸」



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

個人質問

市議会議員個人が、市政全般にわたって、市長・教育長等の方針・考え方などについて答弁を求めるもの。

今定例会では、**8名の議員が質問しました。**

千曲市議会公式ユーチューブチャンネルで、一般質問の全ての内容を動画で視聴することができます。

ぜひご覧ください。

(動画は一般質問の約2週間後から配信されます。)



議会公式チャンネル

千曲市議会ユーチューブ

検索



公明党代表
柳澤 眞由美

「令和5年度施政方針」子ども・若者施策について

Q 0〜2歳児の6割が未就園児。母親の育児困難感を改善する「専業主婦家庭が定期的利用できる保育制度」に応募・実施を。

A 育児疲れによる負担を抱える保護者への支援は「一時預かり保育」の条件を緩和し、対象児童を拡大。受け入れ体制を強化する。

Q 保育園の使用済みおもむつち帰りの廃止にともない、未就園児のごみ袋無料支給を。

A 現状、ごみ処理手数料は減免(申請)で、袋は実費購入。

Q 子どもや若者の声を政策に反映させる仕組み「(仮)千曲市子ども若者議会」の設置について伺う。

A 若者議会など、子どもや若者の声を政策に反映させる



一志会
川嶋 敬信

総合運動公園構想について

Q 公民連携による公共施設等の整備や維持管理が各地で進んでいる。今後計画される公共施設の整備や維持・管理に公民連携手法*PFI方式を採用するべきでは。また担当者を2〜3年で異動させることなく、責任を持たせた事業担当者を任命すべきでは。

A 整備計画の策定に合わせ、民間業者との対話や各方面の意見等をいただきながらより良い手法を取り入れる。職員の異動については、事業進捗のなかで総合的に判断していく。

*PFI
※PFI (Private Finance Initiative) = 「公共施設などの建設・維持管理」「運営」などを、民間の「資金」「経営能力」および「技術的能力」を活用して行う新しい手法。

Q 総合運動公園のパブリックコメントを求めながら、令和5年度に戸倉体育館の改

仕組みについて研究する。

市民の健康づくりと福祉の向上について

Q 「書かない窓口」で住民サービス向上を。

A マイナンバーカード取得者には、住民票や戸籍のコンビニ交付、所得証明書等のオンライン申請などのサービスを提供している。来庁者には何度も記名するという無駄を省くなど快適なサービス提供のため、書かない窓口のシステムについて窓口担当部署が業務の流れを把握し、情報担当部署と連携を図りながら導入に向けた検討を進める。

【その他の質問】

- 令和5年度当初予算案は決算を反映したか
- 高校再編・整備計画について
- 都市基盤整備
- ① 姨捨スマートIC早期の整備促進
- ② 防災拠点機能を持つ道の駅設置を
- 健康ポイント制度創設で健康寿命延伸を

修工事を行うのは矛盾してないか。

A 地元住民がスポーツに親しむ場として、また災害時には避難所となる施設なので、安心して利用していただくため耐震化工事を行う。

Q 建設工事における変動型最低制限価格制度は国から見直しの通達が出ているが、

A より良い制度となるよう見直していく。

Q コンサルタント等への各種業務の民間委託の業務内容・予算の適否についてどのよう
な基準で判断しているか。

A 実施計画の査定時に、各種計画の策定について安易に業者委託しないこと、事業費を十分精査すること、必要性を再検討することとしている。



改修が予定されている戸倉体育館



一志会
田中 秀樹

地域内経済循環の活性化に向けて

消費の中心となる人口が減少する中、市外からのお金を獲得する手段として観光は重要。コロナ後の観光振興に向けて、市はどのような準備をしてきたか。

ちくま割などの需要喚起策のほか、テレワークやワーケーションに対応するための施設整備を支援し、コロナ後にも効用が及ぶよう取り組んできた。最近では、観光局や観光事業者とともに、観光地の再生・高付加価値化を目指して取り組みを進めている。

お金をできるだけ市外に流出させず、市内で消費・投資してもらうために、ローカルファーストの意識をどのように浸透させていくか。



自由政策研究会
聖澤 多貴雄

防災・減災対策について

千曲橋く栗佐橋間での災害復旧護岸工事で発生した大量土砂は工事完成後どう処理されるのか。現地に埋戻した場合、後の災害の誘引にならないか。

千曲橋く栗佐橋間右岸の工事は令和3年8月豪雨災害による復旧護岸工事で、千曲川の水位が上昇し護岸が損傷したため大型ブロック張り及び水制工を設置している。掘削した土砂は現地に埋戻し回復していく。



杭瀬下地区 災害復旧護岸工事現場

入の検討を進める。

地域防災力の要
消防団は維持できるのか

条例定数834人に対し、現在の実数は669人と消防団員の減少が深刻。県や国、また本市が連携協定を締結している企業等に入団を依頼できないか。

より多くの方に入団していただくよう県に働きかけ、合わせて市内の国・県の機関には直接依頼していきたい。協定を締結している企業を含め、市内の事業所に対しても協力を依頼したい。

入団メリットの拡充は。

まずは現在行っている消防団サポートショップ事業の対象店舗を拡充していきたい。新たな優遇制度の創設については、先進地の事例等を参考に今後検討する。

【その他の質問】
事業承継支援の取り組みについて

中洲の一部については河道掘削を予定し、河川外へ搬出し国道18号バイパス工事や市の公共工事での有効活用を図る予定である。工事完成後は、治水安全度が向上するものと認識している。

隣接上流右岸く千曲橋間で令和元年19号台風による河川敷浸食が確認され、応急工事が施された。今後恒久的な護岸工事が求められるが工事の予定はあるか。安全は担保出来るのか。科学的な見地から国土交通省の回答を6月議会で求める。

国土交通省に科学的な回答を求め、6月議会に提出する。

高校再編・屋代南高校
存続について

屋代南高校存続への市長の覚悟は。

懇話会の中で強く訴えていくと同時に県知事にも直接要望していく。

【その他の質問】

少子化・子育て支援事業について



新政クラブ
袖山 廣雄

移住定住を促進する施策は

移住者は人生を賭けて移住を決定する。キーワードは「医・職・住」だ。市民の満足度を上げる施策が移住者増になる。その支援体制は。

全庁体制で取り組む。

子育て世代の支援策は

18歳までの医療費の完全無償化は。

前向きに検討する。

保育を必要とする理由が無くても利用できる「認定こども園」に公立保育園も切り替えを。

子育てし易い環境の提供のため計画に組み込んでいく。

保育園・小中学校の給食費の完全無償化を。財源としてふるさと納税も活用しては。

無償化を継続しての実施は



公明党
滝沢 清人

道路損傷等通報システムの活用

道路・歩道・側溝など、道路インフラの損傷や異常箇所を、アプリを使用して市民が通報できるシステムを作るべきだ。

道路損傷等通報システムの利用で、損傷の場所・状況がある程度解り、緊急度も推測できることから、先進地の利用状況を調査し導入に向けて研究したい。

「80・50」孤独・孤立
深刻化する社会問題へ

地域のアウトリーチ支援を担う民生児童委員、その活動はますます重要で負担が重くなっていく。まずは協力員制度を活用し、つぎに地域ボランティア支援体制も必要ではないか。

協力員制度の導入について、先進地の取り組み状況や成

恒久財源が必要。他自治体も実施していることから研究していく。ふるさと納税の増額を鑑みて進める。

教育移住施策は

子どもの個性やニーズに応じた教育施策を。

各地域の特色ある内容も踏まえて、子ども達の居場所・生きがいを感じることでできる教育環境を整える。

市内にフリースクールが開設された。支援策は。

不登校の子どもや多様な子ども達の居場所づくりについては、学校の大切な役割と認識している。開設した方々と話し合い様々な学びの場を考えていく。松本市の「はぐルッポ」も参考にする。

自然体験から学ぶ「森林夢パーク」を川崎市子ども夢パークの要素を備えて、さらしなの里古代体験パークに併設してほしいが。

子ども達が生きる力を育み幅広い年代が共存して遊べる場は、求められているが課題も多く研究する。

果等を研究し、合わせて地域ボランティアによる支援体制についても検討していく。

大災害「トイレパニック」に備えを

地震や水害で大災害が起きれば、必ず起こるトイレパニック。避難所は勿論、各家庭に簡易トイレ備蓄を加速するために、市で斡旋し補助もすべき。

災害時のトイレ問題は大きな課題であり、避難所については今後も十分な数の備蓄を進め、各家庭にあっても災害用トイレの備蓄が一層進むよう普及啓発に努める。



大災害に不可欠な簡易トイレ、各家庭で十分な備蓄を



自由政策研究会
萩原光太郎

市政において経営資源を
活用せよ

Q ヒトの活用。大規模事業での専門職員の配置や、異動先からのプロジェクトチームへの参加も必要ではないか。

A 専門職員の配置は事業の進捗状況により判断し、業務を経験した職員のプロジェクトチームへの参加は必要に応じて検討する。

Q モノの活用。シティブロモーション事業「Turkey」の内容は。

A 株式会社ポニーキャニオン制作のオリジナルアニメで千曲市が舞台。聖地巡礼で当市への観光誘客を図る。

Q 大規模事業の進め方は。

A 地権者の代表から示された屋代地区開発「まちづくり構想案」は、移住定住の促進、

雇用創出、多世代交流の場の確保など、市全体の活性化につながる提案であるので、早期実現に向けて積極的に支援していく。総合運動公園は3つのエリアごとに計画を作成し、来年度から基本計画の策定を進めるエリアと工事を進めるエリアに分け、実現可能な事業から順次進める。

Q カネの活用。大規模事業の開発手法は。

A 総合運動公園の整備には財政負担の軽減や維持管理・運営の課題への対応のため、計画段階から民間事業者との対話を行い整備時には参画しやすいよう、国土交通省主催のサウンディング型市場調査に参加した。

Q 情報の活用。まちづくりアカデミー・アドバイザーの活動は。

A 若狭清史氏は「変わりゆく地方創生」、山田桂一郎氏からは「観光の再生と地域の活性化」をテーマに職員研修を行った。



一志会
宮下 繁明

デマンド型乗り合い
タクシーについて

Q 現在市内の東部地区で運行されているデマンド型乗合タクシーは、全市での運用が求められている。新年度からの実証運行はいつどこでどのように始めるのか。

A 今年秋頃から姨捨線、更級戸倉線、上山田線の3地区を候補地として、準備が整った地区から実証運行を予定しており、結果をみて全市の公共交通のあり方を見直す。

旧更埴庁舎の保存・活用
について

Q 旧更埴庁舎については文化庁からの緊急調査の依頼を受けた県建築士会が二次調査した結果、近現代建築としての文化的価値が高いとの報告があった。解体の費用の予定は。保存して文化財として活用する考えは。

A 解体の予算は約5億円だが詳細な費用は6月になる。解体の方向で進めているが

千曲市総合運動公園に
ついて

必要であれば関係者の意見を聞き今後の方向性を判断する。

Q 総合運動公園構想における戸倉体育館エリアのスポーツ施設の整備着手はいつか。また完成はいつ頃か。

A 戸倉体育館は来年度3億円の耐震工事を実施する。令和10年の国民スポーツ大会の会場になるため、現時点では整備開始の時期を明確に示せない。

地域間格差の解消について

Q 合併後20年での上山田地区の人口減少率16.2%は他の地区の約2倍、高齢化少子化も著しい現状を市はどう捉えているか。18号バイパス、県道改良については昭和40年代から進んでいないがどう考えているか。

A 上山田地区の現状分析は早急に行い報告する。道路整備については地元と協議しながら国や県に引き続き要望していく。



日本共産党千曲市議員
中村 恒彦

酪農・畜産農家の支援を

Q 酪農・畜産農家が大変だ。エサ代が2年前の1.5から2倍にも値上がりし、電気代も大幅に値上がりするなど、経営がたいへん厳しく、いつまで続けられるか見通しが立たない。鳥インフルエンザなどの感染症にかかれば、廃業に追い込まれる。市として支援策はないか。

A 家畜伝染病の予防対策等は広域単位での対応が必要。国・県の動向を注視し連携して進める。それ以外の課題は近隣自治体とも連携し、畜産・酪農家が抱える問題に耳を傾けて、その解決に向け国・県に働きかける。

部活動の地域移行について

Q 新年度から3年間かけて、

中学校の土日の部活動が地域の活動に移行する。進捗状況や指導者の確保は。

A 1年目は、どの部活動も最低、月1回「千曲坂城クラブ」の活動とする。指導者は現時点で120名程度確保できる見込み。教員や公務員も希望すれば参加が可能。

Q 一部に勝利至上主義や技術面への指導に陥ったり、新たな経済的負担でクラブへの参加をあきらめる家庭も出てくる。支援策は。

A 現在の学校部活動の教育的意義を継承し「地域の子どもたちは学校を含めた地域で育てる」という目的だ。クラブの年会費は3千円を予定。必要な経済的支援は、引き続き調査・研究していく。

【その他の質問】

○学校・教育施設の樹木の総点検を
○防犯灯の設置状況は

議員表彰



1月25日に開催された長野県市議会議長会第169回定期総会にて、議長職にあって市政の振興と発展に尽くされた、和田英幸議員が表彰されました。

3月定例会において小玉議長より表彰状の伝達が行われ、受賞者の和田英幸議員が謝辞を述べられました。



3月定例会で表彰を受けた和田英幸議員

請 願 陳 情

請願第1号 旧更埴市庁舎の保存・活用を求める請願

採決結果：不採択

請願第2号 大軍拡・増税に反対し、「安保関連3文書」閣議決定撤回の意見書を国に求める請願

採決結果：不採択

陳情第3号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

採決結果：不採択

陳情第4号 庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情

採決結果：不採択

※詳しくは、千曲市ホームページをご覧ください。賛否が分かれた議案の各議員の賛否は、市議会ホームページ「議会日程」の中で公表しています。

委員会視察調査報告・活動報告

議会運営委員会視察報告

荻原 光太郎

1月18日、千葉県船橋市議会にて予算決算常任委員会について視察。従前は予算と決算それぞれ特別委員会とし、3人以上会派から3人に1人の割合で委員を推薦していたが、平成29年より予算決算常任委員会となった。議長を除く全議員で構成し、各常任委員会委員を分科会委員とし審査を行っている。

翌日は茨城県取手市議会を視察。従前各常任委員会に予算と決算の審査を分割付託していたが、現在は10人で構成する特別委員会で行っている。「決算を予算に結び付ける」ため、決算の時点で次年度予算に反映させる提言を行う。議会BCP(事業継続計画)は策定しておらず、これまで招集対応訓練、災害対応訓練など3回訓練を実施している。



取手市議会での視察の様子



船橋市議会での視察の様子

「高校改革再編整備計画(三次)」に関する要請書を市長に提出

4月11日、正副議長から小川市長に「高校改革再編整備計画『三次』に関する要請書」が手渡された。

県教育委員会により決定された同計画において、(旧第4学区(長野市、千曲市、坂城町)の高校再編については、更級農業高校、松代高校、屋代南高校の3校を長野千曲総合技術新校(仮称)、松代高校(普通科)の2校に統合し、新校の「活用する校地・校舎や設置学科などについては地域に様々な意見があることから、今後設置する『新校再編実施計画懇話会』の意見交換を踏まえ、魅力ある学校像を地域とともに創り上げていく」とされている。

これを受け市議会では「市内の県立高校2校確保に向け市長を先頭に市議会と共に粘り強く進めること」を市長に要請した。



屋代南高校



市長へ要請書を提出

特別委員会中間報告

昨年8月より新たに2つの特別委員会が設置されており、3月定例会ではそれぞれから中間報告がありました。

議会改革特別委員会

当委員会では、全6回委員会を開催し、12月22日には議会基本条例を中心とした議会改革の取り組みについて松本市議会への視察研修を行った。

2月16日の第6回委員会では、千曲市議会基本条例のたたき台となる素案を提示し、現在、委員会内で検討を行っている。

今後は委員会でまとめた素案について各会派から意見を聴取し、執行機関からの意見も聞きながら素案としてまとめる。

パブリックコメントを経て、令和6年3月までの議会基本条例制定を目指して活動を進めていく。

総合運動公園等に関する特別委員会

当委員会では、戸倉体育館周辺のスポーツ施設と白鳥園エリアの現地視察、南長野運動公園総合運動場の視察研修を行った。

また、総合運動公園基本構想の策定状況や内容について市の担当課から説明を受けた。

直接市民から議員へ寄せられている意見が基本計画に可能な限り反映できるよう、また、スピード感をもって整備を進められるよう委員会において中身を精査し、必要に応じて提言などを行っていく。

令和5年度 予算

税金の使い道が決まりました。

市長から令和5年度の予算案が提案され、皆さんから納めていただく税金の使い道を審議しました。その結果、すべての予算案が提案どおり可決され、税金の使い道が決まりました。

一般会計予算

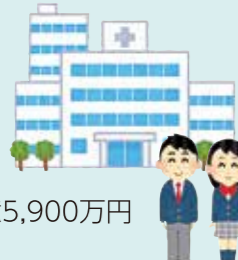
295億円

総額

467億3,610万7千円

会計別予算	
一般会計	295億円
特別会計	
国民健康保険特別会計	54億4,605万6千円
介護保険特別会計	55億2,921万2千円
後期高齢者医療特別会計	9億3,289万6千円
公営企業会計	
下水道事業会計	50億4,754万9千円
水道事業会計	2億8,039万4千円

【事業名】 福祉医療費給付事業



【事業費】 1億5,900万円

【内容】 子ども福祉医療給付金の対象を15歳以下から18歳以下まで拡大し、子育て世帯の負担を軽減する。


【事業名】 保育所施設整備事業



【事業費】 6億1,206万9千円

【内容】 老朽化した園舎の建替えや耐震改修を実施し、安全・安心な保育環境を整備する。


【事業名】 公共施設の除却、長寿命化事業



【事業費】 24億725万1千円

【内容】 不用となった公共施設の除却および老朽化した施設の耐震化、長寿命化を進め、施設維持経費の負担軽減を図る。

【事業名】 (市誕生20周年記念事業) 文化会館記念自主文化事業



【事業費】 1,400万円

【内容】 市出身や市にゆかりのあるアーティスト・音楽家などによるコンサート等を開催する。

【事業名】 白鳥園多目的広場整備事業



【事業費】 7,200万円

【内容】 総合運動公園構想の一環として、白鳥園の南側用地を芝生公園に整備し、地域の交流の場として活用を図る。

【事業名】 産業連携ネットワーク道路基盤整備事業



【事業費】 4億2,100万円

【内容】 (仮称)屋代スマートインターチェンジが準備段階調査箇所を選定され、東西連携軸の一端を担う市道「一重山2号線」の整備を進める。

討論

このような理由で賛成・反対しました。

千曲市商工業振興条例の一部を改正する条例案

採決結果：否決

賛成 柳澤 眞由美



商工業振興条例の一部改正について評価する点は、内規という行政内部の規則を明確にし、見える化した事、支援の迅速化を図り中小・零細企業の支援を十分行う事。更に、新設する事業継続力強化計画策定事業により伴走型支援ができると共に経営強化が図れ、新産業創出グループ支援事業では、限度額を引き上げ、SDGs推進企業には支援額を10%引き上げ、採用活動支援、デジタル技術活用支援等が実施できるようになる。しかし、両手を挙げて賛成するわけではなく、行政側の条例改正に臨む姿勢が不十分で、経済団体との懇談も不足し、委員会審議の時間も期間が短く遺憾ではあるが、コロナ禍克服に挑む中小企業を応援していくために、行政の姿勢を正す事も強く望み、賛成する。

反対 田中 秀樹



本条例に定められている助成制度は、緊急措置ではなく恒常的な支援や将来に向けた投資への支援にあたる。改正案に対し、事業者や商工団体の意見を聞くため、市産業振興審議会に諮問して答申を求めるときの位置付けや、どのような場合に諮問する必要があるのかについて議論がなかった。また改正案は、事業の種類、内容、助成金の額を定める別表を、議会の議決対象である「条例」から、議決対象でない「規則」に移す内容を含んでいるが、この点についても議論が十分に行われていない。多岐にわたる変更箇所についても議論が足りず、一方、事業者の不利益については回避できることから本案に反対する。

一般会計予算案

採決結果：可決

賛成 聖澤 多貴雄



少子高齢化・人口減少のスピード抑制につながる子育て支援事業や持続可能なまちづくり事業を中心に編成された令和5年度予算の総額は、295億円を計上し前年対比33億2千万円増の大型予算となっている。「第三次千曲市総合計画」に掲げた基本目標のもと、高齢者を地域で支える体制、福祉事業、移住定住策など少子高齢化・人口減少の時代に対応した各種の施策・事業が数多く盛り込まれている。財政指標からは不安な面も見受けられ、歳出経費の削減はもろろんのこと、新たな財源確保は喫緊の課題である。厳しい財政運営も懸念されるが、将来の新しい千曲市像のブランドインフラや予算編成を評価し、令和5年度予算に賛成する。

反対 前田 きみ子



一般会計では、個人番号カード交付事務委託料897万円、カード申請補助端末使用料10万9千円が計上されている。個人データを国が一元的に集約し、プライバシーが侵害され、内心の自由が侵される懸念があり反対。環境整備基金積立金601万円が予算化されている。これは競輪場外車券売場からの千曲市への還元金である。車券を買って負けたお金であり、認められない。一般会計から国民健康保険特別会計への繰出金が約3億円あり、そのうち事務費等繰出金が3千万円である。これは赤字繰り出しで国民健康保険の引き下げ対策にはなっていないため一般会計予算案に反対する。また、同じ理由で国民健康保険特別会計予算案にも反対する。



千曲市キャラクター
『あんね』



竹内 葉子さん
(福井)

民生委員を経験した今、思うこと

私は民生委員を2期6年間務め、昨年12月に退任しました。様々な機会を捉え家庭を訪問してお話を聴かせていただきました。

民生委員に求められる役割は、地域住民の生活上の課題を早く把握し、それを行政など関係機関につないでいくことにあります。社会にはさまざまな課題を抱えながら、助けを求める「声を出せない人」、「声を出さない人」が少なくなく、一方、複雑な課題を抱えた住民との関わり方に悩みを抱える委員も多いのが現状です。民生委員研修の集まりでもそのような人へのアプローチをどうしたらより良くできるかを毎回のように議論してきました。

そこで思ったことは、民生委員が担当地域において十全な活動を行っていくには、個別情報を持っている人や見守りを行っている人からの情報や現状把握など、地域の関係者との関係の構築がどうしても必要ということでした。

民生委員が活動しやすい環境づくりの施策を議会や行政をお願いします。

次回 6 月 定例会予定

(会期 20日間)

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8 本会議 開会	9	10
11	12	13	14	15 本会議 一般質問	16 一般質問	17
18	19 本会議 一般質問 議案審議	20 総務文教	21 福祉環境	22 建設経済	23	24 委員会
25	26	27 本会議 委員長報告 討論・採決	28	29	30	7/1

※議事の都合により、日程が変更される場合があります。

議会を動画で見よう

本会議の様子は、約2週間後からパソコンやスマートフォンなどでご覧いただけます。



議会公式チャンネル

千曲市議会ユーチューブ

検索

議会を傍聴しよう

どなたでも傍聴できます。市役所5階の傍聴人受付簿に住所・氏名・連絡先を記入し入場してください。

詳しくは、市議会のホームページをご覧ください。



新型コロナウイルスも少しずつ収束し、5月8日からは感染症法第5類に移行し、インフルエンザと同等の扱いになります。マスクの着用も、働き方、生活環境も大きく様変わりしつつあります。そんな中、市議会においても常に新しいテーマが持ち込まれ、それぞれ俊敏に対応し、議会における審議、検討状況を市民の皆様にお伝えすべきと考えております。この議会報を通じ、皆様と双方向で意見交換ができれば幸いと改めて思っております。
(中村 眞一)

議会広報特別委員会

- 委員長 田中 秀樹
- 副委員長 中村 恒彦
- 委員 金井 文彦
- 中村 眞一
- 滝沢 清人
- 吉池 明彦
- 川嶋 敬信
- 林 慶太郎